

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「伝道を選び取った故に」



全国壮年会連合におかれましては、大切な伝道者養成の働きを支えていただき、心より感謝いたします。

連盟は現在、結成以来4回目の機構改革に取り組んでいます。この改革期にあたり、連盟では「伝道者養成の基本理念」の改定作業に取り組んでいます。この改定作業には壮年会連合からは、山田誠一会長に委員として参加いただき検討を重ねました。改定案「これからの伝道者養成基本理念（2023年）」案は2月の第68回定期総会に上程いたします。

この改定では「信徒一人ひとりが教会を担う主体」であることを確認しつつその作業にあたりました。この改定案をぜひ読んでいただき、諸教会・伝道所で、また壮年会の集まりなどで「バプテストにおけるこれからの伝道者養成」を考える機会を持っていただきたいと思います。

ところで、今回の機構改革では、改革の三本柱として、①各個教会・地域主体の協力伝道、

中田義直（日本バプテスト連盟常務理事）

②多様な声が響き合う連盟、③協力伝道献金体制の確立を掲げています。この三つの柱に共通しているのは、主体性の尊重です。協力伝道献金体制は、定められた分担金ではなく主体的に捧げる献金によって共に宣教の働きを担い合う体制です。また、互いの尊厳と主体性を大切にするとときに多様な声が響き合います。そして、各個教会が主体的に近隣教会や共通の課題と取り組む教会と協力関係を作っていく「協力伝道」を目指しています。

そして、今機構改革は、主体性を大切にしてきたバプテストの教会形成の取り組みでもあります。バプテストは主体性を大切にするからこそ、主体的信仰告白の伴わない幼児洗礼を拒否しました。信仰の継承の重要性を認識しながらも、「クニ」や「イエ」の宗教ではなく、「個」の主体的決断による神様との関係を大切にしたのである。それ故、バプテストは幼児洗礼を拒否し、伝道を選び取りました。

伝道を選び取った私たちバプテストは、だからこそ、伝道者養成を協力伝道の重要な働きとして担っていくのです。

2022年11月現在の神学生奨学金献金・会費実績および対前年度比較

地方連合名	神学生奨学金献金					連合会費				
	2022/11実績		前年同月		対前年額	2022/11実績		前年同月		対前年額
	金額	教会	金額	教会		金額	教会	金額	教会	
北海道	214,165	7	211,210	7	2,955	50,000	4	72,000	5	-22,000
東北	402,100	12	320,300	10	81,800	50,000	6	86,000	8	-36,000
北関東	794,156	13	710,955	11	83,201	121,000	6	90,000	6	31,000
東京	1,337,519	18	1,174,125	15	163,394	184,000	9	216,000	7	-32,000
神奈川	809,878	9	984,850	12	-174,972	122,000	4	192,000	6	-70,000
西関東	254,414	6	276,091	5	-21,677	59,000	5	55,000	5	4,000
中部	321,507	6	360,500	5	-38,993	0	0	0	0	0
関西	426,320	12	361,700	14	64,620	74,000	5	74,000	6	0
中四国	668,950	17	631,180	15	37,770	88,000	8	92,000	8	-4,000
北九州	374,845	12	441,365	12	-66,520	62,000	4	78,000	5	-16,000
福岡	1,041,974	20	1,258,852	21	-216,878	140,000	10	197,500	11	-57,500
西九州	166,000	5	213,600	6	-47,600	6,000	1	16,000	2	-10,000
南九州	289,600	11	373,718	11	-84,118	95,000	12	40,000	5	55,000
個人団体等	474,801	-	431,000	-	43,801	-	-	-	-	-
総計	7,576,229	148	7,749,446	144	-173,217	1,051,000	74	1,208,500	74	-157,500
対前年比	97.8%	102.8%				87.0%	100.0%			
個人団体除く合計	7,101,428	148	7,318,446	144	-217,018					
対前年比	97.0%	102.8%	(参考:個人団体等を除く献金額です。)							

◎11月末現在、個人団体等を除く金額です。献金は前年同月と同額で推移しています。(対前年度比で献金が97% (約-21.7万)、会費は87.0% (約-15.7万) です。ぜひお祈りに加えていただき献金増加と共に、充実した連合活動のために連合会費へのご協力を願います。

「主事への献身に導かれた証し」

東京バプテスト神学校 神学専攻科 根塚幸雄
(推薦教会 横須賀長沢礼拝教会)



私は、少年時代から躁鬱症ですっと悩んできました。青年時代、イエス様を信じた私は、「神様、本当にいるなら私を救ってください。あなたのためには何でもします。」と何度も祈りました。そして段々癒されてきたと思っています。ここ数年、信徒と献身者が年々減少していることを知り、神様への約束を果たしていないのではないかと思うようになりました。

今年の正月、信仰の先輩に「根塚君、主事という献身があるんだよ。祈ってみたらどうか。」と言われました。なぜかそのことが頭から離れなくなり、3月に

もう一人の信仰の先輩に「主事の働きって何ですか」と聞くと「牧師の牧会と福音伝道の働きを補佐し教会に仕えることだよ」と言われ、そうかそういう献身の仕方があるのかと素直に受け入れることができ主事として献身することを決心し専攻科に入学しました。現在は、全国の仲間と一緒に学べることにとても感謝していますが、会社で働き、教会で奉仕しながらの夜学は十分な学びができないのが本音です。

現役で働いている人たちには、できたらもっと学びに専念させてあげたいと願っています。そういう意味でも神学校献金の働きはとても貴重で感謝なことだと思っています。

11/19臨時代表者会議報告

「役員会と地方連合のコミュニケーションをもっと活発にしよう！」

副会長 豊永義典

10/15に役員会を開き、8月の壮年大会と定期総会のフォローをした後、下期から来年度にかけての課題等を討議しました。その時に出された課題として、役員会が考えていることが地方連合には届いていない、もっと地方連合とのコミュニケーションの機会を増やすべきだとの意見がありました。対話を増やし、意見の集約、対策立案、アピールのサイクルをしっかりと回そうというものです。そこで11/19に臨時の代表者会議を開催し、11の地方連合の壮年会長が出席して下さり、以下の5つのテーマについて語り合いました。

- ①各教会の壮年会連合への参加意識を高めるためには何が必要か？
- ②役員選出についての工夫が必要ではないか
- ③伝道者養成の新基本理念及び神学校献金を神学生奨学金以外の新しい用途に支出することについて
- ④今後の信徒活動について
- ⑤壮年会連合ニュースの4ページ化に伴う新シリーズの開始について。

①についてはいろいろな意見が出されました。役員会で話されていることを、もっと壮年会連合ニュースを活用して報告するとともに、意見交換のページを作り、役員会が考えていること、それについての地方からの意見をオープンにすることで、理解を深めるとともに、そこに自由に参加していくことが出来るようにする。また、役員会のメンバーが地方連合の役員・会員との話し合いに参加することで、そこで困っていること、課題と一緒に聞いていくことをやったらいい。Zoomでの研修会をやって欲しい。テーマとしては、これからの伝道について、特に若い世代にいかに関与していくか、等。役員会としては、ここで出された提案を速やかに実行に移したいと考えています。

11月9日に発送しました「第57回全国壮年大会報告書」に訂正箇所がありましたのでお知らせします。

P 2 15行目 高齢化など恐れ ⇒ 高齢化など、恐れ	P 23 項目の2が ダブっている ⇒ 2と3の間の2を 2-1 と訂正する。
P 9 番号59,60 名古屋教会 ダブリ 番号59を削除する	P 24 21行目 聖書の 内用 ⇒ 聖書の 内容
P 12 9行目 全国 総連 会連合会長 ⇒ 全国 壮年 会連合会長	P 25 4行目 オーム 真理教 ⇒ オウム 真理教
P 15 2行目 2022/07/07 ⇒ 削除 する	P 25 28行目 貢献するまでに 起動 しました。⇒ 下線部削除 貢献 しました
P 17 1行目 チャールズ2世帰国 ⇒ チャールズ2世が 帰 国	P 26 3行目 ヒアルド ⇒ ヒラルド
P 17 4行目 一揆が起きました ⇒ 一揆が起 き ました	P 31 下から2行目 再乗⇒ サイクル 下から2行目 事項⇒ 実行
P 19下から4行目 石を投げられ で ⇒ 石を投げられて	P 37 14行目 勧め ます ⇒ 進 めます
P 20 1枚目の資料の2行目 西 先生 ⇒ 大西 先生	P 43 1行目 原稿 (案) ⇒ 原稿 (案を削除)

<第2回奨学金委員会報告> 開催：2022年11月26日(土) 於：ZoomによるWeb会議

- | | | |
|-------------------------------|---------------------|-------------------|
| ・連盟総会・理事会・西南大神学部 | ・2023年度奨学金申請者の審査 | ・返還猶予申請書の審査 |
| ・会計・献金・監査等報告 | ・返還免除対象者の審査 | ・奨学金返還対象者等の状況確認 |
| ・2023年度西南大学 転編入学神学生との
面談報告 | ・2022年度奨学金償却者の確認 | ・中間監査に対する対応 |
| | ・定期報告・返済計画等の確認とその対応 | ・奨学金事務運用についての意見交換 |



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4
事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp